

刊夕日九十二

磐城毎日新聞

昭和六十三年三月三十日 第九千八百一十八号

お客様には笑顔で

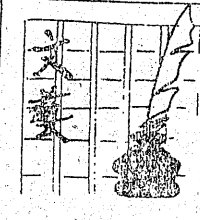
平商業報隊

商人はサービスの爲に萬全の努力をし、無理な犠牲を以て経済主義時代の夢を忘れられず、常時の要求をその儘そつと事、其の出来事、其の結果として物事は不足し、過剰であつた商品も配給制度が実施される時、商人の努力不足を加へて商業の苦難時代に入つたと云ふことが出来るのであります。然るとき顧客は依然としてまた事變前のサービスは手段

光泉林の生活

（八）

数十分を経て集合の合図がなり、石段の下に整列すると昨日滋賀の浦の行願にたいせられ、阿濃の百姓家に一夜を祈りすされた天香師が石段の上に立たれた。白装の温和さと慈悲をたへて、服装は粗末な木綿の着物に、袖無しのモンペに素足に草履、天香師が合掌する。我々研習生も合掌し、始めての對面をする。一同打揃つて内殿に於て、國威宣揚、武運長久、五穀成就の祈願をこめ、終つて同神宮齋殿にて祈禱すしのお供養をうける。食事を終り小憩の後神宮附近八百九十九の六萬行願を行ふ。班頭さんより各々四戸當りの配額を受け名札を渡され左手にパケツを下げて別れる。六萬行願の歸は一は不淨場の清掃であるといふことになつてゐるのである。これに依つて少しも、自他の障りを少なくしてこの世の中を光明化するといふのであつて、ほんたうに下生した氣持、不淨場を心の禮堂として四戸の内



より電車にて歸ると在園の方が合掌して迎へて呉れる。並ごとに入浴をすませて禮堂に静坐をする。六萬行願は兵士が砲臺陣雨の中に飛びこんでゆくと同じ心でなければならぬ。やると思ふが必ず全一であり、懺悔、報恩感謝の心を持つてやればなんともないことである。四時半食事を終り禮堂に於て坐禪の講話を拜聴し、山林内夜の静けさを聞き、山頂の音を沈黙する心に響いて床に入る。

工又生

この家でも申譯けない様な挨拶を聞いて、こちらで居るの側から眺めてゐるに過ぎない。（河上徹太郎）

春寒餘抄

（湯本） 露木征夫
この冬のしづかに明かる草山の枯生に風はすさびる。 決算のいそがしき事務にありなれて盡みる草の青みおとろふ。 阿武隈の遠き山脈の起伏に雲日をもちる光りりけ高山の那雪に沈む湯のいろをかなしめるがに遠くしとけなく泪さしくみし日を戀へど夕空雲須臾してきゆ

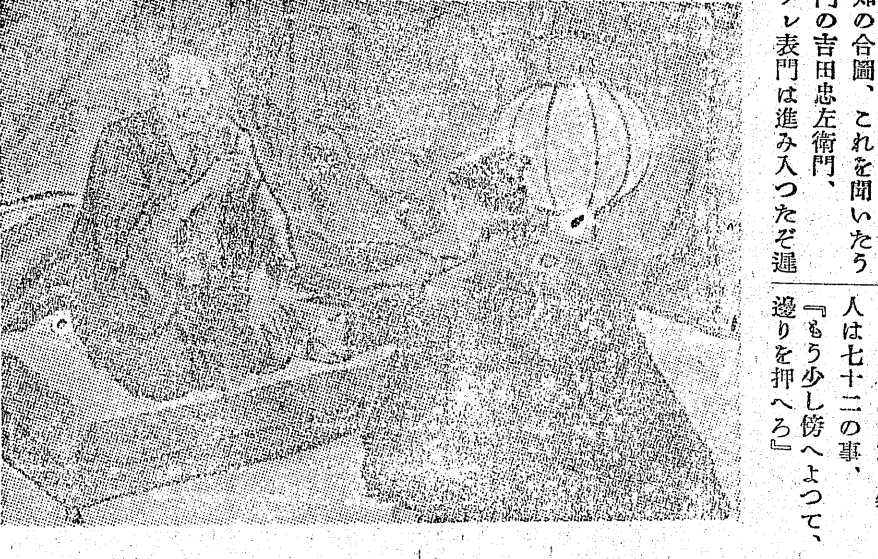
短歌

みそぎ、上（四倉） 紫 浪
明日六時みそぎの海に入る。といふ男の子等は祖の宵行すみて輝にもくもる友誼のあるはみそぎの海を語きさらぎの冷き且の荒海に眞向ひて我言ふもなし。 波きわくる波の彼方は明るみて神代ながらの朝陽はさし出でぬ

異説赤穂浪士

桃川 若燕
城本 喬

呼方の勇氣を引立たせた。と、吉良邸の附近本所二つ目に屋敷を構へて居るが、松浦登政守屋居してと賀と稱し、今年七十二才然し至つて壯健、老体だが、炬燵の安火のは大嫌ひ、人の体は炭火で温めるはよくないといふ。近づくは、尤も若い内から養生しては肉布圍を用ひしなるとは云へ、高懸故、寒中冷えるときは肉布圍を用ひ、肉布圍と云ふのは若い女を裸にして左右に懸かして其の間に入つてお寝みかする。これは両方の濡氣が肌に移る。これは安火のやうな強い温か味とは違つて如何にも感じがい、それに少し気分がから手内に入つたといふ。門は七十二の事。もう少し傍へよつて、腰の邊を押へる。



と變なことは云はない。肉布圍が鼻際を出したり、モジにしても間違ひはない。今夜も例の肉布圍を用ひて、賀老トロく寝ようとする。コレは、然る後の布圍が動いてはいかん。少しデブとして居れ、オイ然る前の布圍も身体を海老のやうにしては困る。と肉布圍に叱言を云つてゐると忽ち響く太鼓の音。「ハ、今頃、太鼓が響くと寝られぬ儘に指を折つて敷へると正しく山鹿流の陣太鼓一打三つに流れる。これぞ山鹿の三流れ大鼓太鼓の法に叶ひ耳鳴かす響きたる太鼓の音に思はず松浦下賀ガバとばかりに例ね起きたから例にあらぬ眞鍮で放り出された。コレを「コレを」いふ。

ウエル萬年筆

快適な筆調、
金剛鋼より数倍
金剛鋼より数倍
木佐々ガラスペン
一本金拾銀より
ガラス中の第一級品
です。一度の御使用が永
久の御愛用となる事請
代平市製鉄廠

高島屋の洋服

軍服と国民服
御注文並に既製品
平市二丁目通
電話三六八番

命の御用は 三三三屋

肉も豚も優良品の自慢

シボレーフォード、八ポルト型 蓄電池

在庫品豊富
修理は特に勉強
東工業株式会社 東工業株式会社 東工業株式会社

工員募集

一、求人者 福島県石城郡小名濱町
二、應募資格及人員 日本成業工業小名濱工場
右優遇採用す
三、寄宿舎其、他福利施設完備
四、申込方法 履歴書一通提出ノコト
五、申込場所 平國民職業指導所

マルトモ食堂

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
平市四丁目
マルトモ食堂
(電話二二三番)

吸入用酸素純度99%

關内薬局
平市四丁目 電話四〇番

久野電機

蓄電池、高懸電機、平市製鉄町
東工業株式会社 東工業株式会社 東工業株式会社

純毛類の永持には 白榮舎のクリーニング

正直な仕事、優秀な技術を、お望みの方は
設備を誇る 白榮舎ランドリー
平市仲田町

世界的治療機 超短波 時代来る

四百四病の中「ガン」以外は必ず
治る。東京帝大眞鍋嘉一郎博士
の證明するアコマ超短波治療器
にて一日も早く如何なる難病も
實驗治療して下さい
本試下さい 無料實驗 午後五時迄
十日間 代理店 川崎松之介商店
平市新川町一四

和洋銅鐵、金物問屋 店商屋蓋

九九・九電

石炭販賣 迅速、誠實

多少ニ拘らず御用願ヒマス
平市白銀町(救世園側)
磐新石炭店
蓮沼龍輔
電話七六七番

大谷建材店

三月十二日より
電話二九六番
東邦タイプライター代理店
東邦タイプライター事務所
平市町銀橋街
藤森 藤森
電話二九六番
振替仙臺五一〇番

出征兵の暖い心

留守宅に

卅一日公會堂に一同招待

本市では出征兵の遺族並に...

有事に備へる下水へ

炭殻や汚物を捨てる

本市の下水路は大部分暗渠...

七十名に凱歌

市工合格発表

本市内四中等学校中職立工業...

四市長會議に

平市から配付税問題提案

昨四市長會議は来る四月...

優雅な日本趣味

「節句」の由来

三月三日は「節句」である...

郡市聯合の

招魂祭打合

平市並に石城郡招魂祭打合...

團長會議

警署各分署長會議は...

管内の製炭

明年二割増

平産炭の製炭量は...

平署の異動

平署では縣から発表された...

秋田礦専

既にして千圓突破

平愛蘭の軍用機運動...

泥棒の上前

赤井の真面目

赤井の真面目な...

釜川堰總會

明廿日開會

釜川堰水利組合の通常開會...

管内最初の

一才駒セリ

石城産馬組合管内今年二才駒...

十五段制断行

四月一日から本紙面大刷新

本紙は昨年十一月刊以来...

磐城毎日新聞社

本紙は昨年十一月刊以来...

種付場竣工

石城産馬の

石城産馬組合は...

平市慶弔録

出生 平市市會の前十四番地...

先染染組

ドライクリーニング「サークル」

被服の保全... 正しい洗濯と染色を致しませう。

時局に即應した協定料金で...

正しい洗濯と染色を致しませう。

洗ひませう... 直しませう...

洗ひませう... 直しませう...

専門業者

福島縣商業組合加入店舗

このドライクリーニング業組...

組合店舗

福島縣商業組合加入店舗...

自動車を助手急募

野崎交通自動車株式會社...

平國民職業指導所

求職者 野崎交通自動車株式會社...